2024年度 自己評価・施設関係者評価報告書

2025年

学校法人双葉学園 認定こども園ふたば文化

1. 双葉学園の教育理念

たくましく大地に根をはれ ふたばっ子!

たくましく・・・心も体も健康な子を育てます

大地に根をはれ・・・幼児期は人格の基礎づくりの時、根っ子の時代です。発達段階をしっかりと押え、幼児期には幼児期にふさわしい生活「遊び」を大切にします。

ふたば文化は、子ども達の楽園です

子ども達が主人公です。私たちは子ども達のためになることを、追及し続けます。

楽しくなければ子ども園ではない!

楽園であるからには、楽しくなければなりません。ふたば文化に関わるみんなが楽しめる子ども園を目指します。

2. 教育目標

めざす幼児像

- (1) 健康で元気な子
- (2) 友達と仲良く遊べる子

めざす教師像

(1) 健康で常に生き生きとして、子どもの為に力を出し切れ

る教師

3. 園内研修(本年度重点的に取り組む)の計画、目標/結果・評価

《テーマ》 「挨拶あふれる幼稚園」 ~集団遊びの充実~ 一緒がいいね!仲間だから!!

挨拶が溢れる幼稚園をメインテーマにした。挨拶は常に、自分から進んで言えるような環境にする。今年度、年少クラスは集団遊びの充実、年中長はクラスの人数が少ない事もあって、たくさんの友だちと関わって楽しめるように、クラスの活動だけでなく、もう一つのチームを作って活動していく事を計画した。

【園内研修の計画・目標について】

挨拶溢れる幼稚園という事で、職員が率先して挨拶を心掛けた。挨拶をする中で、○○君おはよう! ○○ちゃんおはよう!!等、名前をよんで挨拶しようと伝えると、少しずつ浸透していき、挨拶が自 然といきかうようになってきた。挨拶のチャンピオン!と1人褒めると、挨拶がどんどんよくなり、 僕も私もという気持ちがでてきた。反省点としては、朝の挨拶はみんなで言い合えるが、園外に出た 時や、バス登園でバスに乗り込んだとき等の挨拶はまだ自然とできていないので、これからも継続し ていきたい。

年少クラスは集団遊びをテーマにした。昨年度の自由遊びの現状として、砂場遊び、遊具、氷鬼など 決まったもので遊ぶ事が多く、集団遊びの発展がほとんどみられなかった。年少から集団遊びを取り 入れ、楽しさを感じ、年中長になった時に、より集団遊びをやりこめる事ができるよう計画をたて た。

年中長クラスは、1 クラス 21 人の 3 クラスでのスタート! たくさんの友だちと関わってほしいと思い、年中長を半分に分けた 3 2~ 3 3人のパンダ・くまチームを作って、月 1 回の活動を心掛けるようにした。

4. 評価項目の達成及び取り組み状況/評価・結果

評価項目	集計結果	評価
園の方針・教育理念の理解と実	92.8%	S
践		
職員として	82.7%	А
安全管理	79.6%	В
保護者対応	77.8%	В
地域・園外活動	82.7%	А
保育・園内研修	81.2%	А
研修	80.8%	А
総合	82.5%	А

※各項目に、担任・補助・運転手・給食職 員がチェックをし、その割合を集計して、 各項目のパーセンテージを計算した。

S・・・90%以上 A・・・80%以上B・・・60%以上 C・・・40%以上D・・・40パーセント未満 として評価

を行った。

【自己評価からの評価・結果】

教育理念は、理事長先生からの話しを聞いたり園だよりを読むことで再確認できて、行事のあり方を考えたり、日々の保育の進め方で悩んだり、保護者との対応で困ったりした時に、理念を思い出して、子どもを第一に考えることができた。ふたばの教育理念があるからぶれずに、子どもたちと接する事が出来た。

保育参観や、年長児のみ親子給食をおこない、保護者から、子どもたちの園での様子がわかると好評だった。来年度は誕生会の保護者招待もできるようにしたい。各クラス月に 2 回の動画配信も継続して行い、子ども達の様子を見られるようにした。ただ、クラスによって動画のアップの頻度に差が出てしまう時があったので、無理のない範囲で引き続き、動画配信も行っていきたい。

園外への散歩や公園にも昨年度より出かける機会がふえたが、行事に追われて、季節を感じる機会は少ないので、子どもたちと楽しめるようにしたい。地域との交流では、お願いされたものにこたえる事が多く、園から発信したりお願いする事がほとんどなかったので、積極的に地域との交流もしていきたい。研修はスキルアップの為に各自探してはいるが例年に比べると、機会は少なくなっているので、研修をうけたら、積極的に声を出し、成果をみんなで共有できるようにしていきたい。

今後取り組む課題

挨拶は引き続き、園全体が気持の良い挨拶で溢れるように心掛けていきたい。まずは大人が見本となるような気持の良い挨拶をしっかりとしていきたい。年少クラスの集団遊びでは、満3歳児の途中入園も多く、おもうように集団遊びがいれられないときもあったが、3 学期は年少児みんなで楽しむことができた。年中長クラスのパンダ・くまチームでは大人数ならではの良さ、クラス以外の友だちとの関わりが増えて子どもたちは喜んでいた。ただ運動会や発表会といった行事前になると、計画的に入れられず、子どもたちから「パンダチームまだ集まらないの?」と言われる事もあり反省。担任としても、クラス以外の子どもたちの事も知る事ができてよかった。クラス編成で悩んだが、今年のクラスで良かったなと思えた。

来年度は、歌のあふれる幼稚園♪音楽を通しての交流をテーマにしていきたい。季節の歌や、わらべ歌等の良さ、歌詞の意味、歌の導入の仕方など、職員一同で研究して、歌声あふれる幼稚園、そして歌を通しての、異年齢交流をテーマに子どもたちと楽しんでいきたい。

父母の会からの評価

2024年度施設関係者評価

2024年度父母の会会長、副会長より、日々の園生活を見ての施設関係者評価をいただきました。

◎2024年度 父母の会会長

長女の入園から8年間、長女、長男、次男と3人の子ども達がふたば文化幼稚園にお世話になりました。長女が三歳の頃、どの幼稚園に通わせようか迷った私は、市内のいくつかの幼稚園の見学に行きました。

ふたば文化幼稚園では、朝の体操を園庭で行う様子を見せて頂きましたが、先生方の元気の良さ、子ども達の楽しそうな掛け声や笑顔が印象的で、なんて楽しそうな幼稚園だろう!と興味を持ちました。入園説明会での理事長先生の、「楽しくなければ幼稚園ではない」遊びの中で、これからたくましく生きるための根っこの部分を育てていく「大地に根をはれふたばっこ」という教育理念に感動し、入園を決めました。

そんな「子ども達の楽園」に入園してからは、泥んこになった体操服を持って帰った日には「いっぱい遊んだね!」と褒め、ふたば文化の目の前にある広い公園での缶蹴りで「今日ヒーローになったんだ!」との報告を一緒に喜び、袋に入った山盛りのドングリや赤い木の実、イチョウの葉っぱのお土産に自然を大切にたくさん遊んだ様子が目に浮かび、親子での行事、夏祭り、運動会、発表会と様々なイベントで成長を感じ、親子そろって本当に楽しい時間をすごしました。

また、ふたばでは年中、年長が混ざって一クラスになる縦割り保育を取り入れています。年中の頃は、「はやく緑バッチ(年長)になりたい!」と、運動会のソーラン節を真似したり、歌を真似したり、かっこよくて優しい、お兄さんお姉さんに憧れを持ち育っていきます。自分たちが年長さんになると「待ってました!」と言わんばかりに頼もしくなり、お泊り会やつくば登山、リレーや合奏と、年長ならではの行事に意欲的に参加し、お手本を見せるような成長を見せてくれます。

運動会のご褒美で年長児は紐で回す昔ながらのコマを幼稚園からもらうのですが次男はこまが苦手で練習を嫌がりました。親でもあきらめるほど嫌がっていたのに、担任の先生は諦めずに根気強くかかわって下さり、息子はとうとうコマを回せるようになりました。その後、卒園する前に黄色バッチ(年中)に教えなくちゃいけないからと、忙しく教えるほど自信がついたようでした。

ふたばの先生方はどの先生が担任になったとしても、安心して子どもを預けられます。どの先生も素晴らしいのはもちろんですが、新任の先生にもしっかりとベテランの先生方が補助してくださり、先生方全員で見て下さっているという安心感が感じられました。

もう小学生上の子たちは時々「ふたばに通わせてくれてありがとうね。」と言ってくれます。「なんで?」 と聞くと「だって楽しかったからだよ!」との言葉を聞き、ああ本当に子ども達にとって、楽しい場所だったのだ、保育の中で先生方が「子ども達の楽園」であることを、きちんと実現してくれていたのだなと感じ、ふたば文化幼稚園を選んで良かったと心から思います。 8 年間親子で楽しく幸せな幼児期を過ごすことができたのはふたば文化幼稚園のおかげです。本当にありがとうございました。

◎2024年度 父母の会副会長

当時 2 歳だった長男と子育て支援の行事に参加した時に緑色とオレンジ色の体操服を着た子供たちが森の中の遊具や落ち葉で元気に遊んでいました。

入園先を探していた私は生き生きとした園児達を見てふたば文化幼稚園にお世話になろうと決めました。 入園式、園庭に入ってすぐに先生方が『たっくん!』と大きな声で呼んでくれました。わたしは初日なの に先生方が名前を覚えてくれている!と驚きと嬉しさは今でも忘れられない思い出です。

園生活では、園庭で音楽に合わせてパワフルに踊る先生とそれに負けない元気な子供たち、三輪車を勢いよくこいだりアスレチックの山に駆け登ったり!夢中で遊ぶ姿をよく目にすることができました。 誰とでも仲良くなれるコミュニケーションの能力はふたばっ子ならでは!ととても素晴らしく感じます。 印象的なのは、お迎えに行くと『誰のおかあさん?』と何人も声をかけに来てくれたり、『〇〇くんお迎え~』と園児達が大きな声でお迎えを伝えてくれるんです。いつも元気な声をかけてくれるふたばっこに私もパワーを沢山もらいました。

クラスでは年齢が縦割りで2学年混合ということもあり、年下の園児へ気遣える思いやりと優しさ、年上の園児みたいに頑張ろう!と意欲的になれるたくましさ、を毎日の生活の中で身に付けられるのは大事な幼児期に恵まれた良い環境だなと思いました。

1年を通して自然の中で季節を感じられる遊びや、観桜苑までお散歩、縄跳びやコマ回し大会など、身体を沢山動かす出来事が盛りだくさんあるので3年間で心身ともに強くなることができたと思います。 そしておもいっきり遊んで沢山経験させてもらいながら個性ものびのび成長させてもらいました。面白いことが大好きな我が子になりました。子供たちがみんなニコニコの笑顔で心の底から楽しめる『子供たちの楽園』であることを親子そろって実感しました。元気いっぱいのいい表情をしている姿は先生方が親身に寄り添ってくれているんだな~と先生方の温かさを感じます。

毎日がたくさんの笑顔に包まれて沢山の経験と元気をくれたふたば文化での時間は親子そろって宝物です。先生方、ふたばのお友達に出会えたこと、喜びと感謝でいっぱいです。3年間ありがとうございました。

たのしい幼稚園の運営の為に、私たち職員は今後も日々子どもたちの立場に立って、よりよい環境となるように努力していきます。

認定こども園ふたば文化 園長 小倉みどり